



練馬区体育協会ニュース

加盟 (財) 東京都体育協会

創立 昭和24年10月(1949)

第34号

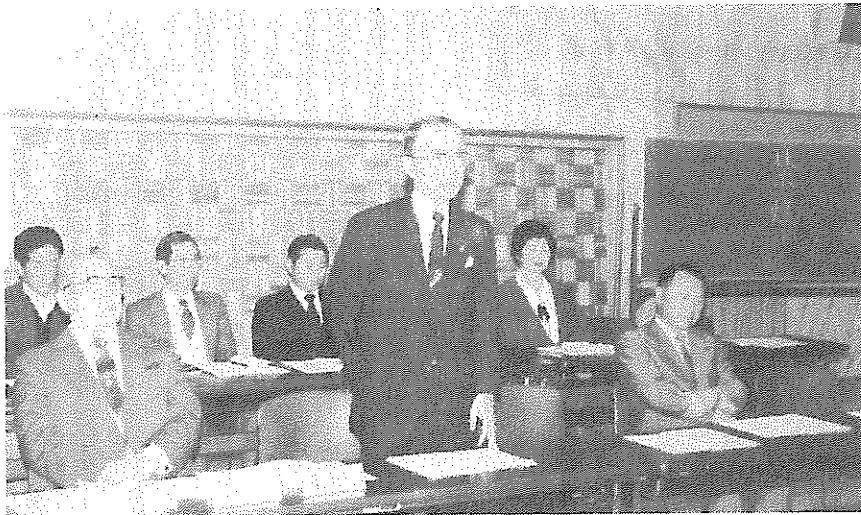
発行 昭和61年5月1日

昭和六十一年・定期大会

名誉会長に田畠区長就任

法人化基金順調に進行

一、三〇〇万円に到達



就任の挨拶をする田畠区長

本協会の定期総会は四月三日(木)
区立勤労福祉会館にて午後七時
より開催された。

一、開会、議決権の確認

出席者 三十二名

委任者 十八名

執行部 十八名

一、開会挨拶 横山教育次長

一、来賓挨拶 横山教育次長

協議事項

○体協規約への追加条文

○名譽会長一名を第六条に追加
を承認

○名譽会長の推薦について

田畠区長の名譽会長就任を方
場一致で承認

田畠健介練馬区長の就任挨拶

○社会体育課職員移動の紹介
報告事項

1 昭和六十年度事業報告

2 野口理事長よりの寄附金
法人化基金に対し
金毫拾万円が寄贈された。

協議事項

1 法人化基金の集計状況

未納団体並に常任理事の相
当

目標を達成するため、六十年
度の集計を四月二十日とする。

従つてこの後に会計決算とし
次回理事会に報告することを

承認

現時点で六十年度は目標三〇
〇万円は達成されている。

2 追加補助金について

区教育委員会より、都民大会
現時点で六十年度は目標三〇
〇万円は達成されている。

10 競争規則の制定
執行部で原案作製する。

経費として

二七二、〇〇〇円が追加

協議の結果、都民大会種目団
体に配布し再度法人化基金と
して納付することを決定した

3 都民大会関係費の書類整備
区当局の会計監査にともない
都民大会選挙費・派遣費等の
書類の確認が要請された。

4 会長推薦、副会長の増員
会長推薦については、来年四
月の改選時に於て決定する。

副会長の増員については、今
年度中に充分検討し来年四月
に決定する。

5 ゲートボール協会の正式加盟に
ついて
協会組織の確立に問題点があ
るため、正式加盟は一年見送
りとする。

6 都体協の表彰推薦について
原案通り承認

7 六十一年事業計画
原案通り承認

8 六十一年予算案について
原案通り承認

9 提出書類について
○都民大会 開会式参加者
○都民大会 閉会式参加者
○研修会 参加者
○都民大会 参加申込書
以上に各氏名を記入する。

体協の法人化の意義 野口嘉郎

現在、東京都体育協会に加盟する区郡体協、競技連盟、協会いずれもが財団法人化にむかって大変な努力と苦労をしている。

我々練馬体協もまちやの基金の基礎となるべき

「1000万円」

を第一段階の目標として頑張っている。少くとも自分達の手でなんとしても確保し次に行政からの協力を求める体制をひくねばならない。

既に法人化を完了した「選区」「世田谷区」「大田区」「板橋区」等、又本年法人化を申請する「北

区」等の内容を見る時、それぞれの体協と共に加盟する団体が果した基金確保の努力と苦しみは大変なものだ。各体協の下部組織の一団体は50万~100万円をいれぞれ担当し達成している。

又、他の区市体協も一日も早く法人化を達成すべく努力を継続しており、こへ~三年が過半数の体協が終了するといじょり。

◎法人化の意義とは

全国の都道府県体協は既に金で法人化を終えている。今は区市町の体協が取り組んでいる。何故この様に財団法人化を進めてくるの

か?法人化にどんな意味があるのか?この点を考えてみよう。

1 我々体協は現在は任意団体である。即ちどこの地域にでも幾人かの人によってつくられた、グループと全く同様にしか認められない。カラオケのグループでも、ハイキングクラブでも

金で任意団体であり、法的には全く同じなのである。

即ち、戸籍をまだない、無籍の

グループと看得てもよいじょう。

2 財団法人と云う認知された団体になれば、行政を始めとするあ

らる機関から「補助金」「寄附金」を量々と受け取ることが出来る。加えて免税となり、運営上

3 一つの例としては、行政からの予算をそのまま体協が受けて行政にかわってそれぞれの事業を代行す

ることが出来る。

4 体協の運営には、基本金の異常を

もって事務局の確立も無理なく出来る。しかしこの運営はガラス張りであり、経理面は正規の監査を受ける。

今、我々は会長を先頭に執行部も加盟団体もその金組織をあげて、体協法人化のため多くの賛助会員を求める支援をお願いしている。

従つて、金役員が一ヶ月間毎に少なくとも五六名の協力者を開拓することが任務であり、その努力と協力の結果なくして法人化は達成出来ない。



奥山会長代行の挨拶

今、我々は会長を先頭に執行部も加盟団体もその金組織をあげて、体協法人化のため多くの賛助会員を求める支援をお願いしている。

従つて、金役員が一ヶ月間毎に少なくとも五六名の協力者を開拓することが任務であり、その努力と協力の結果なくして法人化は達成出来ない。

財団法人となつた暁には、その裏寒から得たもの、補助金、寄附金を加盟団体の事業に助成金として還付するのも大きな意義を持つ、或る意味では、加盟団体は株主であり、それなりに配当が行われるものとすべき。

イヴェントの総合プランナー
—運動会・各種式典・パーティー・お祭り—
企画・会場設営・演出

東京企画装飾(株)

練馬・埼玉・静岡・栃木
03-937-0200

鳥ふじ

練馬区豊玉北5-21

TEL 994-0203

我々執行部を担当する者は、ご承知のように各団体のものと別にそれを上回る賛助金を受け持ち、忙しい日々の中で頑張り、毎年計上する目標額を達成している。

第三十八回区民体育大会

冬季競技をもつて全て終了
参加二十六競技 二三、五〇〇名

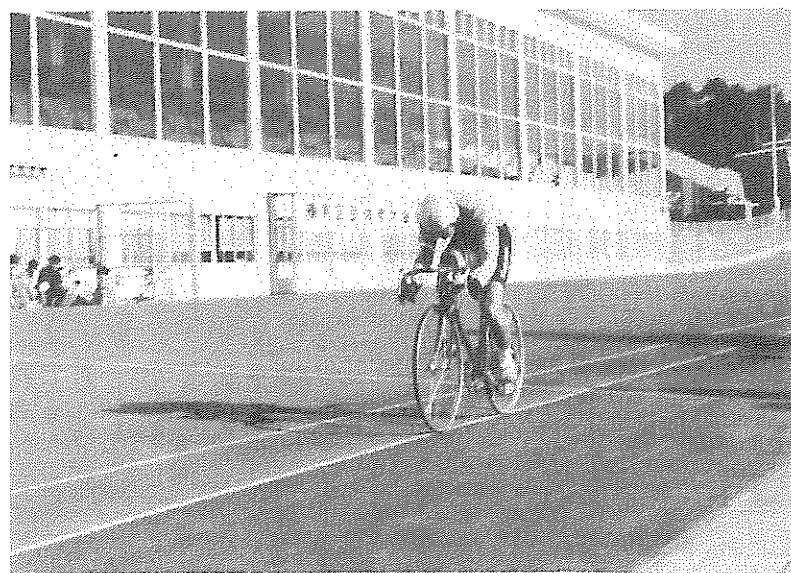
個人としては何人のメリットもないでしょう。しかし各種団体を代表して、区社会体育の先達として、そ

れぞれ永い年数たづさわって来たのである。体協はそれぞれの団体の確立と位置づけを主として、不变のものにすむ」といふ一書の任務と云ふべきもの。しかしこれが達成のためには、喜んで、進んでの協力が必要となしえるものではあります。年間の^{基金}算計表にもう一度よ／＼目を通じて下さい。そしてそれぞの団体がしっかりとした思考の上にたつての協力を切に願ひ次第です。

法人化・基金集計内容

理學長 野口彌郎

○共榮信用金庫・定期
一、八〇〇、〇〇〇円
五十四年・五十八年
五十四年・六十年
二、六二四、四三一円
富士銀行・定期
八、五六九、六四二円
昭和六十一年四月現在
額面総金額
一二、九九四、〇六三円
※内利息未計算額
八、三〇〇、〇〇〇円



1,000mタイムトライアル競技

れくま商事株式会社

練馬区北町 3-20-6

TEL 931-3201

スワロースポーツ

春日町店 總馬区春日町 5-7-10

TEL 998-4860

桜台店 練馬区桜台 4-30-11

TEL 994-5674

そのため、選手の練習も狂ってしまい苦戦をしたものがありました。エーライフルは総合体育館に射場があるため予定通り進行しましたが、審査室がせまい、選手控室がなく一度に実施出来ないので区分して行いました。そのため復員は何日も出なくてはならず大変でした。しかしこの方はスムーズに進行し、よい成績でした。

自転車競技	
一月十九日(日)	西武園・競輪場
参加	三十一名
◎1000メートル、A級	田神明彦 一分二四秒五九
石井康夫 一分二八秒九一	世利隆之 一分二九秒八一
※競走車での出場者は除外	●1000メートル、B級
太田龍祐 一分一七秒六三	1 太田龍祐 一分二九秒八一
土屋寛光 一分三〇秒一九	2 土屋寛光 一分三〇秒一九
池田正明 一分三四秒五八	3 池田正明 一分三四秒五八



赤城大沼でのスケート競技

周知、区報の在り方等よく検討し将来の区民スポーツ発展への資としたいと思います。

スケート競技

十一月十七日、フィギュア	
新宿区高田馬場シチズンリンク	赤城山大沼特設リンク
一月二十六日、スピード	参加 六十五名
◎フィギュア一般一部	◎フィギュア一般一部
1 小林健司 一三・三	1 吉田政弘 一三・〇
2 大柿仁志 一一・〇	2 伊藤修 一三・一
3 酒井理香 二〇・四	3 伊藤崇 一三・七
4 尾方・K 一九・〇	4 加藤佳子 一八・三
5 出口 香 一七・一	5 ○木村一徳 五〇〇米少年

1 落合昌志 三一・〇	3 三浦美幸 一五・二
2 橋沼令子 三一・二	4 ○木村一徳 五〇〇米一般
3 小林智恵 九・二	5 伊藤修 一三・一
4 ○木村一徳 五〇〇米一般	6 尾崎由美 一六・八
5 横山博志 四九秒五	7 上岡 進 七四秒六
6 士屋陸夫 六五秒一	8 ○木村一徳 五〇〇米少年
7 上岡 進 七四秒六	9 吉田政弘 一三・七
8 ○木村一徳 五〇〇米少年	10 伊藤崇 一三・一
9 吉田政弘 一三・七	11 加藤佳子 一八・三
10 伊藤修 一三・一	12 石橋千恵子 一六・一
11 加藤佳子 一八・三	13 尾崎由美 一六・八
12 石橋千恵子 一六・一	14 ○木村一徳 五〇〇米初心者
13 尾崎由美 一六・八	15 吉田政弘 一三・七
14 ○木村一徳 五〇〇米初心者	16 伊藤崇 一三・一
15 吉田政弘 一三・七	17 加藤佳子 一八・三
16 伊藤崇 一三・一	18 石橋千恵子 一六・一
17 加藤佳子 一八・三	19 尾崎由美 一六・八
18 石橋千恵子 一六・一	20 ○木村一徳 五〇〇米少年
19 尾崎由美 一六・八	21 吉田政弘 一三・七
20 ○木村一徳 五〇〇米少年	22 伊藤崇 一三・一
21 吉田政弘 一三・七	23 加藤佳子 一八・三
22 伊藤崇 一三・一	24 石橋千恵子 一六・一
23 加藤佳子 一八・三	25 尾崎由美 一六・八
24 石橋千恵子 一六・一	26 ○木村一徳 五〇〇米少年
25 尾崎由美 一六・八	27 吉田政弘 一三・七
26 ○木村一徳 五〇〇米少年	28 伊藤崇 一三・一
27 吉田政弘 一三・七	29 加藤佳子 一八・三
28 伊藤崇 一三・一	30 石橋千恵子 一六・一
29 加藤佳子 一八・三	31 尾崎由美 一六・八
30 石橋千恵子 一六・一	32 ○木村一徳 五〇〇米少年
31 尾崎由美 一六・八	33 吉田政弘 一三・七
32 ○木村一徳 五〇〇米少年	34 伊藤崇 一三・一
33 吉田政弘 一三・七	35 加藤佳子 一八・三
34 伊藤崇 一三・一	36 石橋千恵子 一六・一
35 加藤佳子 一八・三	37 尾崎由美 一六・八
36 石橋千恵子 一六・一	38 ○木村一徳 五〇〇米少年
37 尾崎由美 一六・八	39 吉田政弘 一三・七
38 ○木村一徳 五〇〇米少年	40 伊藤崇 一三・一
39 吉田政弘 一三・七	41 加藤佳子 一八・三
40 伊藤崇 一三・一	42 石橋千恵子 一六・一
41 加藤佳子 一八・三	43 尾崎由美 一六・八
42 石橋千恵子 一六・一	44 ○木村一徳 五〇〇米少年
43 尾崎由美 一六・八	45 吉田政弘 一三・七
44 ○木村一徳 五〇〇米少年	46 伊藤崇 一三・一
45 吉田政弘 一三・七	47 加藤佳子 一八・三
46 伊藤崇 一三・一	48 石橋千恵子 一六・一
47 加藤佳子 一八・三	49 尾崎由美 一六・八
48 石橋千恵子 一六・一	50 ○木村一徳 五〇〇米少年
49 尾崎由美 一六・八	51 吉田政弘 一三・七
50 ○木村一徳 五〇〇米少年	52 伊藤崇 一三・一
51 吉田政弘 一三・七	53 加藤佳子 一八・三
52 伊藤崇 一三・一	54 石橋千恵子 一六・一
53 加藤佳子 一八・三	55 尾崎由美 一六・八
54 石橋千恵子 一六・一	56 ○木村一徳 五〇〇米少年
55 尾崎由美 一六・八	57 吉田政弘 一三・七
56 ○木村一徳 五〇〇米少年	58 伊藤崇 一三・一
57 吉田政弘 一三・七	59 加藤佳子 一八・三
58 伊藤崇 一三・一	60 石橋千恵子 一六・一
59 加藤佳子 一八・三	61 尾崎由美 一六・八
60 石橋千恵子 一六・一	62 ○木村一徳 五〇〇米少年
61 尾崎由美 一六・八	63 吉田政弘 一三・七
62 ○木村一徳 五〇〇米少年	64 伊藤崇 一三・一
63 吉田政弘 一三・七	65 加藤佳子 一八・三
64 伊藤崇 一三・一	66 石橋千恵子 一六・一
65 加藤佳子 一八・三	67 尾崎由美 一六・八
66 石橋千恵子 一六・一	68 ○木村一徳 五〇〇米少年
67 尾崎由美 一六・八	69 吉田政弘 一三・七
68 ○木村一徳 五〇〇米少年	70 伊藤崇 一三・一
69 吉田政弘 一三・七	71 加藤佳子 一八・三
70 伊藤崇 一三・一	72 石橋千恵子 一六・一
71 加藤佳子 一八・三	73 尾崎由美 一六・八
72 石橋千恵子 一六・一	74 ○木村一徳 五〇〇米少年
73 尾崎由美 一六・八	75 吉田政弘 一三・七
74 ○木村一徳 五〇〇米少年	76 伊藤崇 一三・一
75 吉田政弘 一三・七	77 加藤佳子 一八・三
76 伊藤崇 一三・一	78 石橋千恵子 一六・一
77 加藤佳子 一八・三	79 尾崎由美 一六・八
78 石橋千恵子 一六・一	80 ○木村一徳 五〇〇米少年
79 尾崎由美 一六・八	81 吉田政弘 一三・七
80 ○木村一徳 五〇〇米少年	82 伊藤崇 一三・一
81 吉田政弘 一三・七	83 加藤佳子 一八・三
82 伊藤崇 一三・一	84 石橋千恵子 一六・一
83 加藤佳子 一八・三	85 尾崎由美 一六・八
84 石橋千恵子 一六・一	86 ○木村一徳 五〇〇米少年
85 尾崎由美 一六・八	87 吉田政弘 一三・七
86 ○木村一徳 五〇〇米少年	88 伊藤崇 一三・一
87 吉田政弘 一三・七	89 加藤佳子 一八・三
88 伊藤崇 一三・一	90 石橋千恵子 一六・一
89 加藤佳子 一八・三	91 尾崎由美 一六・八
90 石橋千恵子 一六・一	92 ○木村一徳 五〇〇米少年
91 尾崎由美 一六・八	93 吉田政弘 一三・七
92 ○木村一徳 五〇〇米少年	94 伊藤崇 一三・一
93 吉田政弘 一三・七	95 加藤佳子 一八・三
94 伊藤崇 一三・一	96 石橋千恵子 一六・一
95 加藤佳子 一八・三	97 尾崎由美 一六・八
96 石橋千恵子 一六・一	98 ○木村一徳 五〇〇米少年
97 尾崎由美 一六・八	99 吉田政弘 一三・七
98 ○木村一徳 五〇〇米少年	100 伊藤崇 一三・一
99 吉田政弘 一三・七	101 加藤佳子 一八・三
100 伊藤崇 一三・一	102 石橋千恵子 一六・一
101 加藤佳子 一八・三	103 尾崎由美 一六・八
102 石橋千恵子 一六・一	104 ○木村一徳 五〇〇米少年
103 尾崎由美 一六・八	105 吉田政弘 一三・七
104 ○木村一徳 五〇〇米少年	106 伊藤崇 一三・一
105 吉田政弘 一三・七	107 加藤佳子 一八・三
106 伊藤崇 一三・一	108 石橋千恵子 一六・一
107 加藤佳子 一八・三	109 尾崎由美 一六・八
108 石橋千恵子 一六・一	110 ○木村一徳 五〇〇米少年
109 尾崎由美 一六・八	111 吉田政弘 一三・七
110 ○木村一徳 五〇〇米少年	112 伊藤崇 一三・一
111 吉田政弘 一三・七	113 加藤佳子 一八・三
112 伊藤崇 一三・一	114 石橋千恵子 一六・一
113 加藤佳子 一八・三	115 尾崎由美 一六・八
114 石橋千恵子 一六・一	116 ○木村一徳 五〇〇米少年
115 尾崎由美 一六・八	117 吉田政弘 一三・七
116 ○木村一徳 五〇〇米少年	118 伊藤崇 一三・一
117 吉田政弘 一三・七	119 加藤佳子 一八・三
118 伊藤崇 一三・一	120 石橋千恵子 一六・一
119 加藤佳子 一八・三	121 尾崎由美 一六・八
120 石橋千恵子 一六・一	122 ○木村一徳 五〇〇米少年
121 尾崎由美 一六・八	123 吉田政弘 一三・七
122 ○木村一徳 五〇〇米少年	124 伊藤崇 一三・一
123 吉田政弘 一三・七	125 加藤佳子 一八・三
124 伊藤崇 一三・一	126 石橋千恵子 一六・一
125 加藤佳子 一八・三	127 尾崎由美 一六・八
126 石橋千恵子 一六・一	128 ○木村一徳 五〇〇米少年
127 尾崎由美 一六・八	129 吉田政弘 一三・七
128 ○木村一徳 五〇〇米少年	130 伊藤崇 一三・一
129 吉田政弘 一三・七	131 加藤佳子 一八・三
130 伊藤崇 一三・一	132 石橋千恵子 一六・一
131 加藤佳子 一八・三	133 尾崎由美 一六・八
132 石橋千恵子 一六・一	134 ○木村一徳 五〇〇米少年
133 尾崎由美 一六・八	135 吉田政弘 一三・七
134 ○木村一徳 五〇〇米少年	136 伊藤崇 一三・一
135 吉田政弘 一三・七	137 加藤佳子 一八・三
136 伊藤崇 一三・一	138 石橋千恵子 一六・一
137 加藤佳子 一八・三	139 尾崎由美 一六・八
138 石橋千恵子 一六・一	140 ○木村一徳 五〇〇米少年
139 尾崎由美 一六・八	141 吉田政弘 一三・七
140 ○木村一徳 五〇〇米少年	142 伊藤崇 一三・一
141 吉田政弘 一三・七	143 加藤佳子 一八・三
142 伊藤崇 一三・一	144 石橋千恵子 一六・一
143 加藤佳子 一八・三	145 尾崎由美 一六・八
144 石橋千恵子 一六・一	146 ○木村一徳 五〇〇米少年
145 尾崎由美 一六・八	147 吉田政弘 一三・七
146 ○木村一徳 五〇〇米少年	148 伊藤崇 一三・一
147 吉田政弘 一三・七	149 加藤佳子 一八・三
148 伊藤崇 一三・一	150 石橋千恵子 一六・一
149 加藤佳子 一八・三	151 尾崎由美 一六・八
150 石橋千恵子 一六・一	152 ○木村一徳 五〇〇米少年
151 尾崎由美 一六・八	153 吉田政弘 一三・七
152 ○木村一徳 五〇〇米少年	154 伊藤崇 一三・一
153 吉田政弘 一三・七	155 加藤佳子 一八・三
154 伊藤崇 一三・一	156 石橋千恵子 一六・一
155 加藤佳子 一八・三	157 尾崎由美 一六・八
156 石橋千恵子 一六・一	158 ○木村一徳 五〇〇米少年
157 尾崎由美 一六・八	159 吉田政弘 一三・七
158 ○木村一徳 五〇〇米少年	160 伊藤崇 一三・一
159 吉田政弘 一三・七	161 加藤佳子 一八・三
160 伊藤崇 一三・一	162 石橋千恵子 一六・一
161 加藤佳子 一八・三	163 尾崎由美 一六・八
162 石橋千恵子 一六・一	164 ○木村一徳 五〇〇米少年
163 尾崎由美 一六・八	165 吉田政弘 一三・七
164 ○木村一徳 五〇〇米少年	166 伊藤崇 一三・一
165 吉田政弘 一三・七	167 加藤佳子 一八・三
166 伊藤崇 一三・一	168 石橋千恵子 一六・一
167 加藤佳子 一八・三	169 尾崎由美 一六・八
168 石橋千恵子 一六・一	170 ○木村一徳 五〇〇米少年
169 尾崎由美 一六・八	171 吉田政弘 一三・七
170 ○木村一徳 五〇〇米少年	172 伊藤崇 一三・一
171 吉田政弘 一三・七	173 加藤佳子 一八・三
172 伊藤崇 一三・一	174 石橋千恵子 一六・一
173 加藤佳子 一八・三	175 尾崎由美 一六・八
174 石橋千恵子 一六・一	176 ○木村一徳 五〇〇米少年
175 尾崎由美 一六・八	177 吉田政弘 一三・七
176 ○木村一徳 五〇〇米少年	178 伊藤崇 一三・一
177 吉田政弘 一三・七	179 加藤佳子 一八・三
178 伊藤崇 一三・一	180 石橋千恵子 一六・一
179 加藤佳子 一八・三	181 尾崎由美 一六・八
180 石橋千恵子 一六・一	182 ○木村一徳 五〇〇米少年
181 尾崎由美 一六・八	183 吉田政弘 一三・七
182 ○木村一徳 五〇〇米少年	184 伊藤崇 一三・一
183 吉田政弘 一三・七	185 加藤佳子 一八・三
184 伊藤崇 一三・一	186 石橋千恵子 一六・一
185 加藤佳子 一八・三	187 尾崎由美 一六・八
186 石橋千恵子 一六・一	188 ○木村一徳 五〇〇米少年
187 尾崎由美 一六・八	189 吉田政弘 一三・七
188 ○木村一徳 五〇〇米少年	190 伊藤崇 一三・一
189 吉田政弘 一三・七	191 加藤佳子 一八・三
190 伊藤崇 一三・一	192 石橋千恵子 一六・一
191 加藤佳子 一八・三	193 尾崎由美 一六・八
192 石橋千恵子 一六・一	194 ○木村一徳 五〇〇米少年
193 尾崎由美 一六・八	195 吉田政弘 一三・七
194 ○木村一徳 五〇〇米少年	196 伊藤崇 一三・一
195 吉田政弘 一三・七	197 加藤佳子 一八・三
196 伊藤崇 一三・一	198 石橋千恵子 一六・一
197 加藤佳子 一八・三	199 尾崎由美 一六・八
198 石橋千恵子 一六・一	200 ○木村一徳 五〇〇米少年
199 尾崎由美 一六・八	201 吉田政弘 一三・七
200 ○木村一徳 五〇〇米少年	202 伊藤崇 一三・一
201 吉田政弘 一三・七	203 加藤佳子 一八・三
202 伊藤崇 一三・一	204 石橋千恵子 一六・一
203 加藤佳子 一八・三	205 尾崎由美 一六・八
204 石橋千恵子 一六・一	206 ○木村一徳 五〇〇米少年
205 尾崎由美 一六・八	207 吉田政弘 一三・七
206 ○木村一徳 五〇〇米少年	208 伊藤崇 一三・一
207 吉田政弘 一三・七	209 加藤佳子 一八・三
208 伊藤崇 一三・一	210 石橋千恵子 一六・一
209 加藤佳子 一八・三	211 尾崎由美 一六・八
210 石橋千恵子 一六・一	212 ○木村一徳 五〇〇米少年
211 尾崎由美 一六・八	213 吉田政弘 一三・七
212 ○木村一徳 五〇〇米少年	214 伊藤崇 一三・一
213 吉田政弘 一三・七	215 加藤佳子 一八・三
214 伊藤崇 一三・一	216 石橋千恵子 一六・一
215 加藤佳子 一八・三	217 尾崎由美 一六・八
216 石橋千恵子 一六・一	218 ○木村一徳 五〇〇米少年
217 尾崎由美 一六・八	219 吉田政弘 一三・七
218 ○木村一徳 五〇〇米少年	220 伊藤崇 一三・一
219 吉田政弘 一三・七	221 加藤佳子 一八・三
220 伊藤崇 一三・一	222 石橋千恵子 一六・一
221 加藤佳子 一八・三	223 尾崎由美 一六・八
222 石橋千恵子 一六・一	224 ○木村一徳 五〇〇米少年
223 尾崎由美 一六・八	225 吉田政弘 一三・七
224 ○木村一徳 五〇〇米少年	226 伊藤崇 一三・一
225 吉田政弘 一三・七	227 加藤佳子 一八・三
226 伊藤崇 一三・一	228 石橋千恵子 一六・一
227 加藤佳子 一八・三	229 尾崎由美 一六・八
228 石橋千恵子 一六・一	230 ○木村一徳 五〇〇米少年
229 尾崎由美 一六・八	231 吉田政弘 一三・七
230 ○木村一徳 五〇〇米少年	232 伊藤崇 一三・一
231 吉田政弘 一三・七	233 加藤佳子 一八・三
232 伊藤崇 一三・一	234 石橋千恵子 一六・一
233 加藤佳子 一八・三	235 尾崎由美 一六・八
234 石橋千恵子	

を忘れてスケーティングを楽しんでいた。

スキーカンガ

二月九日

木島平スキー場
参加 一一名

◎男子一部 檜原潤一
四五秒〇四
四五秒一五
四五秒七六

◎女子一部 島海信晃
四五秒〇四
四五秒一五
四四秒〇一

◎男子二部 秋保昭
四五秒〇四
四五秒一五
四四秒〇一

◎男子三部 藤井則雄
四五秒〇四
四五秒一五
四四秒〇一

◎男子四部 加辺近司
四五秒〇四
四五秒一五
四四秒〇一

◎女子一部 和泉清作
五一秒三六
五六秒六四
五六秒八一

◎女子二部 高見沢尚代
四八秒八七
五四秒〇六
五七秒四二

◎女子三部 菊地明美
五一秒三七
五三秒〇九
六一秒一九

◎女子四部 長谷川文美
五一秒三六
五六秒四二
五七秒四二

◎男子一部 飯田 明
二分〇五秒〇三

◎男子二部 大澤 豊
四五秒〇四
四五秒一五
四五秒八一

◎男子三部 橋本定信
四五秒〇四
四五秒一五
四五秒八一

◎女子一部 石岡路代
五一秒三七
五三秒〇九
六一秒一九

◎女子二部 森田弘子
五一秒三七
五三秒〇九
六一秒一九

◎女子三部 鶴岡慶子
五一秒三七
五三秒〇九
六一秒一九

◎男子一部 市村登代
五七秒八四
六〇秒五九
七一秒三六

◎男子二部 橋本栄子
五七秒八四
六〇秒五九
七一秒三六

◎オーブン競技 田口正治
四一秒一
四一秒五

八木幸江

3 船木悦子 五〇秒六
2 青木由理加 二二秒二
◎オーブン競技 二部 渡辺仁 二一秒〇
3 池田俊子 二二秒六

3 青木由理加 二二秒二
2 青木由理加 二二秒二
3 池田俊子 二二秒六

**昭和六十一年練馬区体育協会
関係者合同新年会**

加盟二十七団体三十二競技

参加 一八〇名

法人化基金三十六万円確保



新年の祝辞を述べる岩波教育長

昭和六十一年の新春を迎えて例会の合同新年会は一月二十五日午後六時より豊島園(ボップ)にて区・教育委員会各競技団体長等の来賓をおもて盛大に開催された。定刻、天野総務部長の司会で開会

で開会

一部 開会のいとば

寺崎副理事長

主催者挨拶 奥田副会長

挨拶 梅内会長代行

乾杯 岩波教育長

田中区議会議長

梅内正雄

※昭和六十一年十月軟式庭球盟会長に就任されましたので、ご招待とともに、梅内会長より力強い挨拶を載め、懇話に入った。

二部(カラオケ大会)

担当 富田、森野常任理事

○軟式野球 小林剛夫

○軟式庭球 梅内正雄

○バスケット 梅本宏治

○卓球

○剣道 小沢尊雄

○柔道 二田武彦

○ゲスト 塩沢 登

○ゲスト 玉井重男

教育委員会

卓球連盟

以上六団体、ゲスト二名、若人と熟練、老巧の美声に酔い盛んな拍手で会場内は大いにもりあがった。

審査委員を代表して岩波教育長が講評、いずれも優劣つけがたく出場者金賞に野口理事長寄贈の外国

サントリーコーナークイーン

練馬区豊玉北 5-22-15

TEL 03-994-4846

万倉電設株式会社

港区三田 4-13-20

TEL 03-453-5661

製品の得がたい賞品が授与された。

三部（オクション大会）

担当 杰間他十名

参加者より持ち込まれた1100点

以上の品々を横山常任理事のかけ

声の中で、会計担当の女子役員、

集金、品渡し担当の男子役員が記

置につき、「アレボール」、

場内にひびきわたる声とともに一

つ一つ品物がさばかれ、途中本間

事業部長に交替、一圈ジョークと

ユーモアたっぷりの大声に会場内

の雰囲気は最高潮に達し、きわめ

て順調に予定通り八時五十分完
成された。

売上金 一六九、一〇〇円

万才三唱 櫻本副会長

井口本部長の閉会の言葉をもつ

て九時、盛会裡に終了した。

会費、祝儀、オクション収入等

の結果、合計三六三、一九〇円が

体協法人化基金として繰り入れる

ことができました。

天野文男 後記

年々先進している我が体協の姿

が如実にあらわれるこの新年会も

準備委員会から本番まで役員の終

始一貫した協力により無事終了す

ることが出来ました。

唯残念だったことは、この企画の

生みの親であり、十年間いつもそ

の先頭に立った野口理事長が手術

入院のため出席出来なかつたこと

です。

しかし全ての準備をませての入

院でしたので何の支障もなく、

田舎に進行しました。と同時に、

寺崎 松井両副理事長の指揮のも

と一致協力、立派にその任を果し

ました。

年毎にその内容も充実、参加者も

増え、三部のオクションはすっか

り名物となって定着し、場内の雰

囲気を大きく盛り上げていた。

関係各位の善意と協力が実り、

「三六三、一九〇円」

が、新年会の利益として残り、今

年度の法人化基金に繰り入れまし

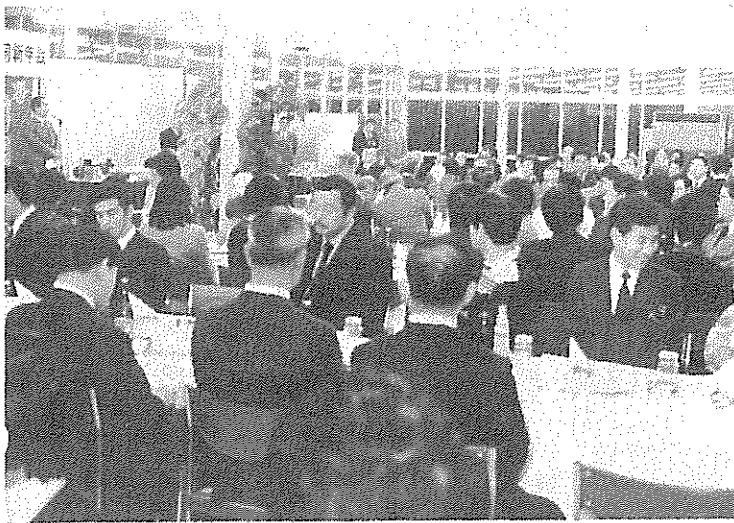
た。

最後に十年来、会場としてお世話

になっている 豊島園 の暖い全

面協力に対しまして、紙上より厚

くお礼申し上げます。



大きく盛りあがった新年会・会場

共 栄 信 用 金 庫

○本店 西武池袋線、練馬駅下車、区役所西館隣り

TEL 993-4311 (代表)

○支店 江古田、北町、鶯宮、大泉

保谷、蓮根、清瀬、氷川台

豊玉、新座、大泉南口

品 川 電 線 株 式 会 社

練馬区小竹町1-8

TEL 03-955-1171 (代表)

第七回練馬区ネットボール選手権大会

学園小・完全優勝

一部、二部とも連続優勝

一部は通算五度目

一部トーナメント

優勝	学園ブラックゴールド
準々位	北町ネットボールクラブA(北町)
第三位	キングアタッカーズA(豊東)

二部トーナメント

優勝	学園ブラックゴールドJ(学園)
準々位	北町ネットボールクラブB(北町)
第三位	ホワイトエンゼル(旭丘)

同 市立桜台体育館

主催 区スポーツ少年団本部

後援 区教育委員会

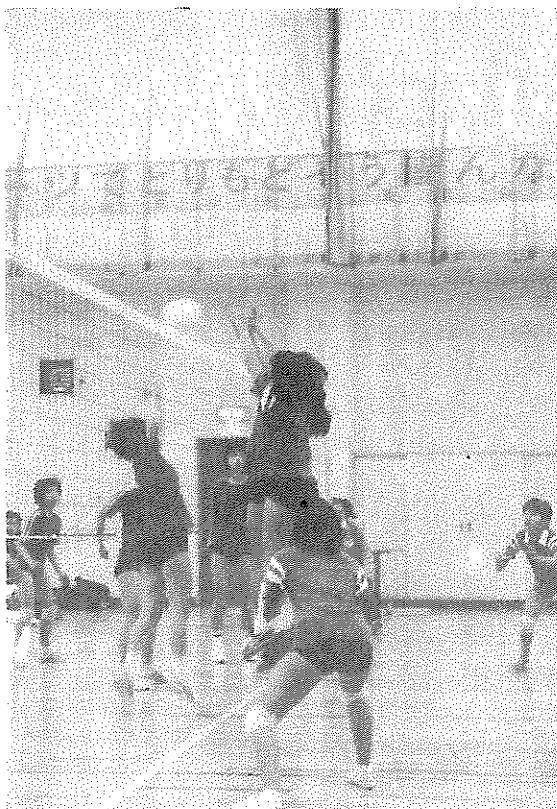
区体育協会

区青少年委員会

区小学校P・迎OB会

主管 区ネットボール協会

第一部 今大会今年は谷原の区立総合体育館が床の張り替え工事中の為使用出来ず、開進三中体育馆と隣接の区立桜台体育館を会場に



熱戦の決勝戦

練馬独自の少女スポーツとして、区金間に大きく普及を見ている、ネットボール。の晉の大會は第7回を数え六十二チームが参加して開催された。
三月一日(日) 区立桜台体育館、開進第三中学校
体育館
主催 区スポーツ少年団本部
後援 区教育委員会
区体育協会
区青少年委員会
区小学校P・迎OB会
主管 区ネットボール協会
第一部 今大会今年は谷原の区立総合体育館が床の張り替え工事中の為使用出来ず、開進三中体育馆と隣接の区立桜台体育館を会場に

して行われました。近いとは云え二会場に分れての試合進行、及び教室を拝借しての控室利用等大会役員にとって不安材料の多い大会でした。例年筆やかに行われる入場行進(今や練馬の名物?)もなぐいざゝか淋しい幕開けでしたが、31チームによって次々に繰りひひびられる熱戦により両会場とも震えを吹きとぼして盛り上がりました。トーナメントの為いつも乍らじ運の良し悪しが多少はありました。トーナメントの為いつも残ったチームは日頃の実力からいつうなづけるものでした。新顔チームの出頭は北西ネットボーラークラブで、学園に大接戦で敗れた早宮、北町に2対1で敗れた小竹、開四等はそれそぞばらしいゲームを見て興れました。学園北町、豊東の三チームは各地区での大会結果からみて優勝戦線常連チームでわずか十二才の少女がよいこれまでと思えるプレーぶりで、脱帽の他ありません。

第三部 一部大急に先立ち旭丘、小竹小を会場に二部大会が行われました。昨年と違つてベスト4を残す決勝まで行いました。二部としてははじめて30チームを越え各校ともネットボール人口が増え、チームが充実して来た事を想わせました。やはり強い一部チームを持つているところが日頃の練習の賜で強いのは当然の結果でしょう。

千 草 屋	和 光 真 栄 接 骨 院	田 中 硝 子 建 材 有 限 会 社
練馬区桜台 5-11-1	和光市本町16-36	練馬区北町3-18-9
TEL 991-4007	TEL 0484-64-9796	TEL 03(931)0669(代表)

しかし新顔チームが多いのは心強い限りです。同じ小学生なのです。かく、今后のあだなえ方によひともんと伸びる筈です。基礎をじこねり身につけた上でひよひよ交流試合をして他チームの良い面を学び

とり、今年の夏の大会では優勝戦
總をぬりかえて頂き度いものです。
大会役員及び各チームのご協力に
より無事大会が終了した事を感謝
致します。

第七回練馬区バレー・ボール選手権大会

一般男子 稻高会

一般女子 春田クラブ

家庭婦人一部 芙蓉クラブ

■ハーリーボール選手権も第七回を迎え、男子、女子の一般、家庭婦人必勝(2-1)。6/3

人の三部でそれぞれ、六十年のチ
ヤン・ナンの歴史が一通り

二三一

三月二日、四日、九日、十一日、

区立桜台体育館、開進第三小学校

名門小学校 大泉小学校 学園桜小学校の各体育館

※内総合体育館が改修工事のため三ヶ月間休館であつただけに

主催：糸田アーチー・コレクション

練馬区体育協会

一般男子の部

稻高会 2-0 中善ク

家庭婦人の部	
一部(A)	十四チーム
準々決勝	すみれク
	2-0
	富士見ク
	豊天ク
	2-1
	高松ク
	美齋ク
	2-0
	あざみク
NKC	2-0
	なじこ」
準決勝	すみれク
	2-1
	0-豊天ク
	すみれク
	2-1
	10-9
	0-豊天ク
美齋ク	21-21
	9-11
	0-NKC
決勝	美齋ク
	21-21
	16-15
	0-すみれ
二部(B)	三十五チーム参加
準々決勝	あざみク
	2-1
	むさしの
KVC	2-0
	仲町小向
SUNク	2-0
	石東小向
小竹ク	2-0
	こぶしき
準決勝	KVC
	2-1
	0-あざみク
KVC	2-1
	0-小竹ク
決勝	21-12
	7-0

四位 エルクライ
五位 北町体育クラブ
四戦とも2-1のストレート勝ちの春日クラブが、ばぬけた力をもみせた。

中 沢 工 務 店

練馬区桜台 4-4-8
TEL 991-2788

株式会社 太和ガーデン

練馬区豊玉北 2-17

メイヨースポーツ

練馬区石神井町 3-17-10
TEL 995-1851

株式会社 ミッキー

区東大泉 6-50-7
TEL 924-2074

ママさんバレーのこの十年の普及発展は素晴らしいものがある。

今回の選手権はエントリー五十三クラブで会場深く大変な苦しい

想いをしていた。

一部は過去の試合の実績で選出された十四チームによる練馬区チャ

ンピオン決定戦。

予想通り美穂とみれの対戦となつたが教育委員会大会、区民体育大会と実績をもつ美穂がストレートですみれを降し優勝を飾った。

二部ではAゾーンからあさまクラブとKゾーンBゾーンから小竹クラブとSHINICLUBが進出、KV

Cと小竹との決勝となつた。

準決勝でSHINICLUBを相手にフルセッ

トの苦戦と長時間の試合で力を出し切ったのか小竹に元気なくあひながら敗れ去つた。

この結果一部(A)の二回戦で敗れた六チームが二部に降部、二部の上位チームが三部に入れる。

世界選手権大会優勝メンバーの経歴をもつ高城さんを中心にもともと練馬区家庭婦人バレーボール協議会は今や練馬区バレー・ボル連盟の中心であり、原動力なのだ。

これから飛躍と充実に期待をもつて見守つてゆきたい(野口)

四月十三日(日)
於 六日町南スキーコース

主催 練馬区スキー協会
練馬区体育協会

大回転競技

○男子一部

1 田中明彦 一分〇〇秒五六
2 下条 登 一分〇三秒四六

3 橋本定重 一分〇四秒一五

○男子二部

1 加藤正八 五六秒二四
2 中沢恵二 五六秒五五
3 宮崎浩 五七秒四四

○男子三部

1 加辺近司 五九秒六七
2 柴田博 一分〇〇秒三八
3 藤井則雄 一分〇〇秒八五

○男子四部

1 杉崎寿三男 一分〇〇秒〇九
2 和泉清作 一分〇三秒〇九
3 中庭信夫 一分〇三秒九三

○女子一部

1 高見沢尚代 一分一七秒二一
2 清田和佳子 一分一七秒三三
3 富本まり子 一分二八秒七五

○女子二部

1 鈴木 緑 一分〇六秒一五
2 大矢律津子 一分〇六秒七九
3 野村町子 一分〇七秒五七

参加選手

男子 四十二名、女子 十名
天候に恵まれ、最高のコンディションで実施することができました。

アジアゲーム・ソウル開催にあと一四〇日・参加三十二ヶ国

韓国訪問記 野口嘉郎

四月七日、韓国連盟の招請により来秋韓国で開催する『第二回アジアローラースケート総合選手権』の第一回協議のため訪韓した。

ソウル市は第十九回アジアゲーム開催まであと五ヶ月だらず、競技施設、附帯設備とともに最後の仕上げに入っており、街全体が活気にあふれている。同時に八八年の第二十四回オリンピックゲームをひかえ、総力をあげて取り組んでおります。

市の中心を流れる『漢江』の南岸は昔は寂しい所でしたが、今やオリンピックスタジアムを中心に官邸、ホテル、高層ビルが建設され、

特に漢江サイドに立てられた大韓生命ビル(ゴールデンタワー)は、浦袋のサンシャインビルを抜いて東洋一の高いと誇るソウル名物となつている。

特に漢江サイドに立てられた大韓生命ビル(ゴールデンタワー)は、浦袋のサンシャインビルを抜いて東洋一の高いと誇るソウル名物となつている。

その六十階に出来た展望台から見える眺めは、金ソウル市は勿論のこと遠く仁川市も手の中に見ることができます。

これが出来る。美しい漢江の流れと共にその夜景の美しさは香港とは違った大パノラマで本当に素晴らしい

しいものでした。ソウル訪問の際は是非とも見てほしいものの一つでと云えます。

八日、私は韓国のスポーツの総本山大韓体育会(体協)韓国オリンピック委員会を訪問しました。

金宗河会長と親しく会談することが出来ました。その目的は来秋の第二回アジア選手権の韓国開催に対する協力要請で、我々競技のアジアゲーム加入への協力のお願いです。

韓国に於けるローラースケートは既に国体種目であるだけに、話はスムーズに進展し成功することが出来ました。

アジアゲームとオリンピックとの中間年開催、又、開催地をソウルではなく韓国五番目の都市、光州市とする点で同意し、金会長の全面協力を得られたことは本当に幸運でした。

この後、韓国政府の体育部(体育省)を表敬訪問した。あいにく、

体育部長官(大臣)は公務にて出張中のため

中央信用金庫江古田支店

巢鴨信用金庫江古田支店

練馬区旭丘1-55

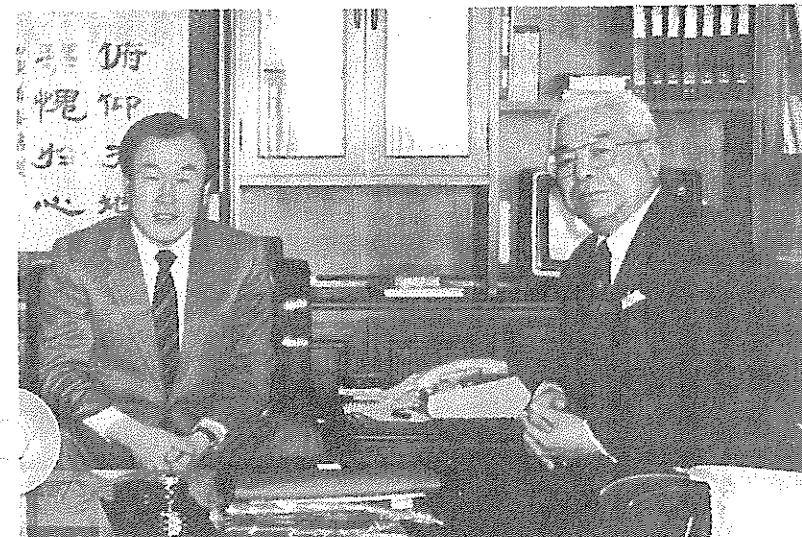
TEL 951-1121

練馬区旭丘1-27

TEL 952-1236

と余見し、本件に対し説明。」)ハ
でも協力の快諾を得ぬ」とが出来

も多いと思います。



韓国政府体育省 僕次官との会談

私は韓国アマチュアスポーツ界の
所轄官庁と執行最高機関のトップ
との会談が出来たわけです。
翌九日、空路目的地「光州市」に
飛び現場との交渉に入りました。
光州市は全羅南道、道厅所在地で
朝鮮半島の南端にあり、日本では
あの悲惨な光州事件をご存知の方

第二回アジア選手権を現在光州市に建設中の道立ローラースケートリンクでの開催を要請した。この施設は三五〇〇平方メートルの屋内リン

教育、文化、芸術の街として有名な所です。

ク、一題) 110米のペニーピース(六尺米×三〇米)にて1000名を収容する鋼製船をもつ、東洋

夜はMBC-TVのインタビュードに
出演、道連盟主催の夕食会とあわ
ました。

金正のイベントがソウル市に集中している今日、是非とも之を開催する共に、アジアの国々の人を迎えたいと表明して下さいた。知事主催の饗迎中食会では、韓国連盟の金会長、金羅南道連盟の李会長始め関係者が出席し樂しく歓談することが出来た。

にも成功、大きな成果をあげる」とが出来ました。私は今田君がアジアの十二の国を見て来ましたが、この十年では中国の発展、韓国の進歩が一番印象的でした。一方中国返還のきまつた、香港、マカオ、政変のフィリピン、それぞれ苦しみ悩むの中華人民共和国、それがまさに、世界の現状です。

やじゅう。しかしへボーンの世界では、いかなる時も國を越へ政治を超え、手をださねば、暖い輪をもつて通じたいたと思いまや。それが私の願望なのです。

、関係者の努力に頭が下りまし
た。わざわざでありましたが、手
持ちの十万ウォンを私の気持として
て、寄附申し上げた所、外國の方々
からいの様な厚意をいただいた
ことは初めてですと涙を流して喜
んで下さった。この施設問題は
スポーツとは離れた分野のことで
したが、とにかくがすがすがしい気持
で、目的のアジア選手権開催の第
一步を光州で踏み出すことが出来

東京都練馬区谷原一一七一五
区体育館内 二六七
練馬区体育協会

練馬区テニス協会

太陽ステンレス スプリング株式会社

練馬区桜台 6-4-14
桜台テニスクラブ内
TEL 993-1829

練馬区三原台 1-15-17